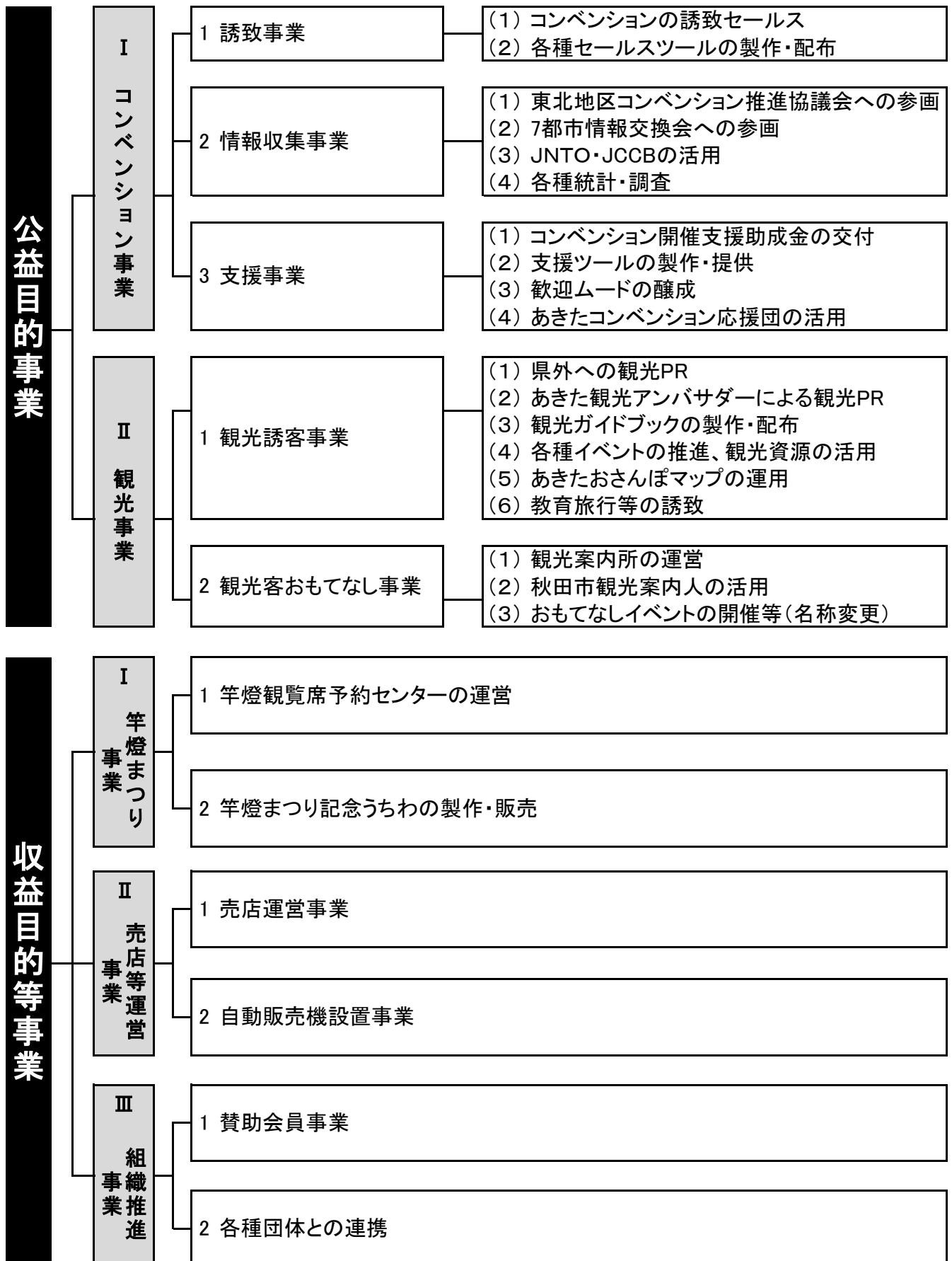


令和7年度事業計画

事業体系図



令和 7 年度事業計画

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

我が国の観光市場の動向を見ますと、令和 6 年は訪日外国人旅行者数・消費額ともに過去最高となることが見込まれるほか、日本人の国内旅行消費額についても年 22 兆円の政府目標達成が視野に入るペースで推移しており、観光庁では、国内外の観光需要が回復し、力強い成長軌道に乗っているとの認識を示しております。

令和 7 年度は、こうした良い流れを本市へ取り込み、観光地として「選ばれるまち」となれるよう、観光資源を一層魅力的なものに磨き上げ、その認知度を高めるとともに、観光需要をとらえたサービスの提供や受入体制の整備などの取組を強化してまいります。

はじめに、公益目的事業のうち、コンベンション事業においては、多様なコンベンションの開催が可能な「あきた芸術劇場ミルハス」を会場とする大型コンベンションの誘致に主眼を置き、当協会のサポート体制を P R するなど国内外の会議等開催団体、事務局等への誘致セールスに積極的に取り組み、開催件数の増加を目指してまいります。

観光誘客事業においては、「これが秋田だ！食と芸能大祭典」や「千秋公園蓮の花ライトアップ」などのイベントを中心市街地で開催し、地元経済の活性化と中心市街地のにぎわい創出に努めるとともに、旅行代理店などと連携し、教育旅行や観光客に対応した風力発電に係る旅行商品の造成・販売を行うなど、新たな観光資源の活用にも取り組んでまいります。こうした本市の観光資源の魅力を多様なメディアやデジタルマーケティングなど新たな手法も活用しながら県内外に広く効果的に発信し、交流人口の拡大につなげてまいります。

教育旅行誘致においては、秋田県や県内市町村と連携し、自主研修を主軸とする札幌市を中心とした北海道への誘致活動を強化するほか、風力発電の観光資源化の取組を教育旅行誘致にもつなげてまいります。

観光客おもてなし事業においては、インバウンド需要のさらなる拡大を見据え、WEB サイトの多言語化や外国語版パンフレットの提供による情報発信に加え、県や市、観光連盟、商工会議所などと連携し、クルーズ船客をターゲットとするお出迎えイベントを開催するなど、心のこもったおもてなしで来訪者をお迎えします。また、秋田市の歴史や文化を生かしたまちあるき観光の促進につなげるため、レンタサイクル事業においてサービス内容や運営体制の充実・強化を図るなど受入体制の充実を図ってまいります。収益目的等事業においては、竿燈まつり観覧席の予約販売業務のほか、10 月に開館予定の新佐竹史料館内に併設される売店の運営を当協会が請け負い、以降は通年営業となることから、協会財政基盤の安定化に向けた売上増加を目指してまいります。

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業	6 3 2 千円
---------------	-----------------

(1) コンベンションの誘致セールス	4 7 8 千円
---------------------------	-----------------

これまでのセールス活動や情報収集事業において蓄積された情報をもとに、県内外のキーパーソンおよびコンベンション主催者に対し、「あきた芸術劇場ミルハス」などのコンベンション施設やコンベンション開催支援助成金などの支援メニュー、本市の観光地としての魅力などを積極的にPRし、誘致件数の増加を図る。

- 地元セールス・・・随時（目標 50 件）
- 首都圏セールス・・・年 3 回程度（目標 50 件）

(2) 各種セールスツールの製作・配布	1 5 4 千円
----------------------------	-----------------

誘致セールスに当たり、デザインなどを工夫した魅力的なノベルティグッズを製作し、セールspanフレット、コンベンション施設ガイドとともに誘致セールスに活用する。

- ノベルティグッズ・・・・・・・・・・ 1 種類製作

2 情報収集事業	1, 7 6 1 千円
-----------------	--------------------

(1) 東北地区コンベンション推進協議会への参画	2 8 7 千円
---------------------------------	-----------------

東北・新潟地区のコンベンション推進団体により結成される協議会へ参画し、他都市の誘致活動状況やコンベンション情報を収集する。

また、同協議会会員都市が一丸となってコンベンションを誘致することを目的として開催する「東北地区M I C E 誘致商談会」にも参画し、積極的なセールス活動を行う。

- 定例総会・・・・・・・・・・令和 7 年 7 月予定（米沢市）
- 実務職員研修会・・・・・・・・令和 7 年 10 月予定（仙台市）
- M I C E 誘致商談会・・・令和 7 年 12 月予定（東京都）
- 会員都市 [青森県] 青森市、弘前市、八戸市
(17 団体) [岩手県] 盛岡市
[山形県] 山形市、庄内地区、米沢市
[宮城県] 仙台市、気仙沼市
[福島県] 郡山市、福島市、会津若松市
[新潟県] 新潟市、長岡市、上越市
[秋田県] 秋田市、横手市

(2) 7都市情報交換会への参画

1, 036千円

7都市情報交換会とは

全国規模のコンベンションは、全国をブロックに分けて持ちまわり開催することが多いことから、各ブロックから1つの都市が集まり、各都市で開催された、あるいは開催決定した全国コンベンションの主催者を加盟各都市へ紹介し合うことを目的に結成している。

<参加都市>

- | | | |
|--------------|------|------------------|
| ➤ 北海道ブロック | 旭川市 | 旭川観光コンベンション協会 |
| ➤ 東北ブロック | 秋田市 | 秋田観光コンベンション協会 |
| ➤ 関東・甲信越ブロック | 前橋市 | 前橋観光コンベンション協会 |
| ➤ 中部・北陸ブロック | 岐阜市 | 岐阜観光コンベンション協会 |
| ➤ 近畿ブロック | 姫路市 | 姫路観光コンベンションビューロー |
| ➤ 中国・四国ブロック | 松山市 | 松山観光コンベンション協会 |
| ➤ 九州ブロック | 鹿児島市 | 鹿児島観光コンベンション協会 |

各都市において開催済みあるいは開催予定のコンベンション主催者を招待し、競合しない他都市へ紹介しあう「7都市情報懇談会」を開催し、効率的な誘致活動を実施する。

○7都市情報懇談会：令和8年1月 東京都

○7都市担当者会議：年5回（7月、10月、12月、1月、3月）

※幹事都市は持ち回りとなっており、令和7年度は当協会が幹事都市となる。

(3) J N T O ・ J C C B の活用

59千円

J N T O（日本政府観光局）

海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議の誘致・支援およびその他の情報を提供している。

J C C B（日本コンgres・コンベンション・ビューロー）

日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

J N T Oが発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。

また、J N T OとJ C C Bが共同で開催する、M I C E誘致の商談会「国際M I C Eエキスポ（I M E 2026）」に出展し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる情報収集を図る。

○J C C B 30周年記念事業：令和7年7月予定（千葉県）

○第1回コンベンションビューロー部会：令和8年1月予定（佐賀県）

○国際M I C Eエキスポ（I M E）2026：令和8年2月予定（東京都）

【特定費用準備資金活用事業】

(4) 各種統計・調査

379千円

秋田市内で開催される予定のコンベンション情報を調査し、受け入れ態勢の整備に役立てるほか、コンベンションカレンダーの作製・配布やホームページにより広く情報提供する。

また、コンベンション開催の成果を可視化するため、経済波及効果の測定を専門機関である（一財）秋田経済研究所に委託する。

3 支援事業	12,277千円
---------------	-----------------

(1) コンベンション開催支援助成金の交付	10,000千円
------------------------------	-----------------

秋田市で開催されるコンベンション主催者に対し、開催費用の一部を助成し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつける。

- 主な交付条件：国際規模 国外参加者が 50名以上
国内規模 県外参加者が100名以上（東北規模以上）

- 助成金額：国際規模 外国人参加者 1 名につき 3,000円
県外参加者 1 名につき 1,000円
- 国内規模 県外参加者 1 名につき 1,000円

(2) 支援ツールの製作・提供	48千円
------------------------	-------------

コンベンション参加者が資料等の持ち運びに便利なコンベンションバッグを 1 部 200 円で販売する。

また、アフターコンベンション等に活用できる観光ガイドブックを無料提供し、参加者の利便性向上や経済波及効果の促進を図る。

- コンベンションバッグ 6,000 部
- 観光ガイドブック配布予定数 50 大会

(3) 歓迎ムードの醸成	2,029千円
---------------------	----------------

コンベンション主催者が秋田らしいアトラクションで参加者をお出迎えできるよう、伝統芸能出演料の助成やあきた観光アンバサダーの無料派遣などを実施するほか、コンベンション開催を歓迎するポスターを製作し、賛助会員等の飲食店やお土産店、宿泊施設などに配布して一体感のある歓迎ムードを醸成する。

- 支援対象：国際規模 50 名以上、全国規模 250 名以上、東北規模 400 名以上
全国規模 1,000 名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- 支援内容：歓迎ポスター・・・1 回当たり 850 枚製作し飲食店等へ配布
伝統芸能出演料助成金・・・出演料の 1/2 かつ上限 50,000 円
あきた観光アンバサダー・・・2 名まで無料派遣

(4) あきたコンベンション応援団の活用	200千円
-----------------------------	--------------

コンベンションの円滑な開催を支援するため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、秋田駅や秋田空港でのお出迎え案内や開催当日の会場案内などのサポートを行う。

- 応援団登録者：25 名（令和 7 年 1 月末現在）
- 派遣対象：国際規模 50 名以上、全国規模 250 名以上、東北規模 400 名以上
全国規模 1,000 名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- 派遣人数：延べ 10 名まで無料派遣

Ⅱ 観光事業

1 観光誘客事業

47,811千円

(1) 県外への観光PR

3,465千円

首都圏を初めとする県外での観光PRイベントやWEBサイト、SNSなどを活用し、秋田の伝統芸能や観光地、特産品などの魅力をPRするとともに、時代に即したツールやメディアを活用したプロモーションを展開することにより潜在顧客の本市に関する情報接触度の向上を図り、観光誘客に結びつける。

○県外での主な観光PR

- ・大阪・関西万博における東北絆まつり（大阪府大阪市）
- ・札幌丘珠空港PRイベント（北海道札幌市）
- ・なかの東北絆まつり（東京都中野区）

○**新**ターゲティング広告によるプロモーション 【特定費用準備資金活用事業】

配信回数 月52万回程度を想定

配信先（ターゲットエリア） 首都圏、札幌市など

効果検証 広告効果の測定・分析を行い、今後のプロモーションの効果的な実施につなげる。

○ホームページ等の運用

- ・秋田市観光・イベント総合サイト「アキタッチ+（プラス）」
- ・当協会オフィシャルホームページ
- ・秋田市観光案内所フェイスブック
- ・秋田市まちなか観光案内所Instagram
- ・あきた観光アンバサダーInstagram、フェイスブック

(2) あきた観光アンバサダーによる観光PR

3,982千円

一般公募により新たに3名を「あきた観光アンバサダー」として委嘱し、昨年委嘱された3名とともに、東北絆まつりなど観光イベントへの参加やSNSを活用したプロモーションなどを通じて、秋田市の観光資源が持つ魅力を県内外に広く発信する。

○主な参加イベント

- ・これが秋田だ！食と芸能大祭典2025
- ・大阪・関西万博における東北絆まつり
- ・秋田竿燈まつり

(3) 観光ガイドブックの製作・配布

6,903千円

秋田市の観光と飲食に関する情報を掲載したガイドブックを製作し、観光客やコンベンション参加者に配布するとともに、県内外での観光PRにおいても活用する。

○製作部数

秋田市観光ガイドブック 冊子版（日本語）	30,000部
秋田市観光ガイドブック ダイジェスト版（日本語）	60,000部
秋田市観光ガイドブック ダイジェスト版（英語）	15,000部

(4) 各種イベントの推進、観光資源の活用

20,167千円

千秋公園桜まつりをはじめ、これが秋田だ！食と芸能大祭典などのイベントを開催するほか、秋田犬などの観光資源を活用し、県内外からの誘客促進を図る。

また、秋田商工会議所や秋田市と連携し、都市型観光の魅力向上を図るため、千秋公園お堀沿いの蓮をライトアップし、ナイト観光スポットとしての定着化を目指す。

○千秋公園桜まつり・つつじライトアップ

・期間：桜まつり・・・・・・令和7年4月中旬～下旬（予定）

つつじライトアップ・・令和7年5月中旬～下旬（予定）

○秋田犬ふれあい処 in 千秋公園

・期間：令和7年5月5日（月）～11月3日（月）

○これが秋田だ！食と芸能大祭典 2025

・期日：令和7年5月24日（土）、25日（日）

・会場：エリアなかいち、アゴラ広場、仲小路、秋田市文化創造館（予定）

○千秋公園蓮の花ライトアップ（秋田商工会議所主催「千秋蓮まつり」との連携事業）

・期間：令和7年7月中旬～8月下旬

・会場：千秋公園周辺

○風力発電の観光資源化の取組（観光ガイドの育成、【拡充】旅行代理店と連携した旅行商品造成等）

○新「(仮称) 料理人に光を当てるイベント」※内容は調整中

(5) あきたおさんぽマップの運用

1,785千円

スマートフォンなどの位置情報（GPS）と連動し、秋田市の観光・飲食や文化財の情報の閲覧とともに、江戸時代などの古地図を使ってまちあるきが楽しめる「あきたおさんぽマップ」を運用し、まちあるき観光の促進を図る。

○おさんぽマップ概要

種 類	マップ数	内 容
観光・飲食マップ	2	日本語版、英語版
文化財マップ	4	中央地区、八橋・川尻地区、寺内地区、土崎地区
古地図	2	江戸後期城下絵図、昭和26年秋田市街全図

(6) 教育旅行等の誘致

11,509千円

県内市町村等との連携により、秋田の食文化や自然、芸術などの地域資源を生かした既存メニューの磨き上げと風力発電の観光資源化など新たな魅力の掘り起こしを行い、特色のある滞在型・体験型メニューの充実を図るとともに、北海道内の教育関係者、旅行代理店等への誘致活動を強化し、誘致件数の増加に結びつける。

○教育旅行の誘致

・北海道、東北域内、首都圏の旅行代理店、教育機関等へのセールス

・商談会、セミナーでのPR

・ホームページ、パンフレットを活用したPR

・各種助成金の交付

○教育旅行の受入

・北海道旅行代理店の社員を招聘したモニターツアーの実施

・English Village※（イングリッシュヴィレッジ 以下EV）の調整

- ※English Village：国際教養大学が実施する英語体験メニュー
- ・荒川区ワールドスクールの受入
- ・風力発電の観光利用へ向けた受入態勢事業の継続（ガイド育成等）
- ・風力発電を活用したプログラムの提案
- 令和7年度の誘致数
 - ・教育旅行・・・国内8校1,000名程度（宿泊を伴わない自主研修のみの学校も含む）
（令和6年度国内7校376名 宿泊を伴わない自主研修のみの学校も含む）
 - ・E V・・・予定数15件525名

2 観光客おもてなし事業	46,647千円
---------------------	-----------------

（1）観光案内所の運営	29,426千円
--------------------	-----------------

2つの観光案内所を運営することで、中心市街地を周遊する観光客のニーズに対し、的確に対応できる環境の充実を図る。

○秋田市観光案内所（秋田駅構内）

秋田市内や県内各地の観光情報をリアルタイムで収集し、来所者のニーズに沿った情報を提供するとともに、県内や東北地区の観光案内所とも連携し、広域的な観光案内を実施する。

- ・開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）

○秋田市まちなか観光案内所（大町一丁目）

「秋田市まちなか観光案内所」の指定管理業務を秋田市から受託し管理運営するとともに、秋田市観光案内人と連携しながら、本市の歴史および文化を生かしたまち歩き観光を推進する。

- ・開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）

1階 秋田市まちなか観光案内所窓口

2階 秋田観光コンベンション協会事務所

※観光案内所の職員は2カ所の案内所をローテーションで勤務する。

○【拡充】観光レンタサイクル事業 【特定費用準備資金活用事業】

現在、秋田市公営駐車場を貸出場所とするレンタサイクル事業について、貸出の拠点をまちなか観光案内所へ移し、羽州街道に点在する各文化財、観光施設等の回遊性を高め、当該エリアの認知度向上、誘客促進等を図る。

（2）秋田市観光案内人の活用	989千円
-----------------------	--------------

秋田市内の名所や旧跡、歴史や郷土芸能等を案内するボランティア「秋田市観光案内人」を育成・活用し、まちあるき観光やクルーズ船寄港時の観光案内等を実施する。

○秋田市観光案内人登録者数：34名（令和7年1月末現在）

○まちあるき観光案内所の設置

4月中旬から11月下旬までの土日や祝日、竿燈まつりなどの期間に、エリアなかいちに設置（4人体制）。開設期間中は無料観光案内を実施。

○秋田市まちなか観光案内所での観光案内

秋田市まちなか観光案内所に常駐し、来所者への観光案内を実施。

○まちあるき観光事業の実施

年2回程度、秋田市まちなか観光案内所を発着点としたまちあるき観光を実施。

（３）おもてなしイベントの開催等

16,232千円

中心市街地において、クルーズ船客や大型・国際コンベンション参加者を対象とする歓迎イベントを開催するとともに、イベント開催地周辺の飲食店等の利用促進につながる企画を実施するなど、おもてなし体制の充実を図る。

また、秋田市を訪れた観光・ビジネス客に対して歓迎の意と地域の魅力を伝えるポスターを制作するとともに、竿燈まつり期間中に、まちなか観光案内所において、竿燈提灯による装飾を行うなど、街全体で歓迎ムードの醸成を図る。

- クルーズ船客や大型・国際コンベンション参加者を対象とする歓迎イベントの開催
- 新**本市を訪れた観光・ビジネス客向けの歓迎ポスターの制作
- 竿燈まつり歓迎ムード醸成のための秋田市まちなか観光案内所の装飾

【収益目的等事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営

4,309千円

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

- 団体予約：令和7年4月中旬開始予定
- 個人販売：令和7年5月中旬開始予定

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売

513千円

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

- 製作予定本数：13,500本
- 販売価格：1本150円

II 売店等運営事業

1 売店運営事業

11,286千円

- 千秋公園売店運営

当協会の財政基盤の強化に結びつく主力事業と位置づけ、人気商品であるソフトクリームや秋田犬グッズ等従来の売れ筋商品に加え、新商品の取り揃えも視野に入れ収益アップを図る。

また、令和7年10月に完成予定の新佐竹史料館内の売店への移転にともない、千秋公園売店は10月上旬をもって閉店する。（閉店後の建物活用については協議中）

- ・営業期間：千秋公園売店 4月中旬から10月上旬
佐竹史料館売店 10月上旬から通年営業開始
- ・主な取り組み：千秋公園期間限定ソフトクリームの販売
4月～6月：さくらソフト
7月～10月：はちみつソフト

秋田犬、竿燈まつり、なまはげグッズ等の販売
キャッシュレス対応
イベントでの出店販売
佐竹史料館オリジナルグッズの販売など

○県立中央公園スポーツゾーン売店運営

・営業日：5月～9月のイベント開催時のみ

※経営を雄和地区の賛助会員へ委託予定

2 自動販売機設置事業

1,027千円

○設置箇所：千秋公園、スポパークかわべ、へそ公園、県立中央公園、ふるさと温泉ユアシス（計29台）

III 組織推進事業

1 賛助会員事業

777千円

○賛助会員親睦ゴルフコンペの開催

・開催時期：令和7年9月

・会場：秋田椿台カントリークラブ（予定）

○賛助会員交流会の開催

賛助会員が一同に会する交流会を開催し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

・開催時期：令和8年3月

・会場：未定

<参考>

令和6年度末賛助会員数：284団体（450口）新規加入6件、退会11件

2 各種団体との連携

775千円

県や市、秋田商工会議所など各種団体との連携した会議等に積極的に参画し、情報交換や人的交流を図り、賛助会員へ提供する最新情報の収集や、円滑な事業運営に結びつける。